

令和8年度 実地調査データシート(岩手県生コンクリート品質管理監査会議)

1. 監査日および会社名

監 査 日	年 月 日 ()
会 社 名	
工 場 名	

2. 抜取試料の品質

試料の区分		工程・製品	
A 呼び方	コンクリートの種類	①普通・②軽量	
	呼び強度 S_L		
	スランプ (cm)		
	粗骨材の最大寸法 (mm)		
	セメントの種類	①N ②H ③BB ④FB	
B 設計基準	標準偏差 σ (N/mm ²)		
	正規偏差 T		
	配合強度 m (N/mm ²)		
	水セメント比 (%)		
	細骨材率 (%)		
C 検査実績	試料の区分	①工程・②製品	
	期 間	年 月 日～ 年 月 日	
	個数 N(最近の $N \geq 25$)		
	平均強度 (N/mm ²)		
	標準偏差 S_D (N/mm ²)		
D 表面水率 (%)	細骨材		粗骨材
	設定値	実測値	設定値 実測値
	①	①	① ①
	②	②	② ②
	③	③	③ ③
	④	④	④ ④
E 容積	標準配合材料容積 (l/m ³)		
	容 積 補 正 比		

3. 練混ぜに用いた水の種類

①	上 澄 水
②	スラッジ水
③	地 下 水
④	上 水 道 水
⑤	その他()

4. 細骨材および粗骨材の種類

①	川 砂 (%)	川砂利 mm (%)
②	砕 砂 (%)	川砂利 mm (%)
③	山 砂 (%)	砕 石 (%)
④	陸 砂 (%)	砕 石 (%)
⑤	海 砂 (%)	山砂利 mm (%)
⑥		山砂利 mm (%)
⑦		陸砂利 mm (%)
⑧		陸砂利 mm (%)

5. 動荷重検査の結果

材 料 名	セメント	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	合 計
標準配合 (kg / 1,000 l)											
現場配合 (kg / l)											
目 標 値 (計量値) (kg) ※1	○～○[. m ³]										
	○～○[. m ³]										
	○～○[. m ³]										
	○～○[. m ³]										
運搬車 1台分の 実 計 量 値 (kg)	① [. m ³]										
	② [. m ³]										
	③ [. m ³]										
	④ [. m ³]										
	⑤ [. m ³]										
	⑥ [. m ³]										W:
	合計[. m ³]										
計量誤差(%) = (計量値)－(目標値) 目標値 × 100		①									
		②									
		③									
		④									
		⑤									
		⑥									

※1 目標値は、配合補正後の計量値

【計量誤差の合否判定基準】

セメント: ±1%以下
水 : ±1%以下
細骨材: ±3%以下
粗骨材: ±3%以下
混和剤: ±3%以下

6. コンクリートの容積

補正単位容積質量 M (kg/m ³) ※2	
検査で割増しした容積 Vt (m ³) ※3	
実測積載容積 (W/M)－Vt (m ³)	
納入伝票の容積 V(m ³)	
実測積載容積比 ((W/M)－Vt) / V	

※2 空気量のロスを見込んで補正した値

※3 検査で割増し分を考慮しない場合は、Vt= 0.0 (m³)とする

7. 試験結果

試験項目	スランプ(cm)	空気量(%)
実測値		
目標値 ※4		
(実測値)－(目標値)		

※4 目標値は、ロスを見込んだ値

8. 塩化物含有量

コンクリートの塩化物含有量(kg/m ³)	
混和剤の塩化物イオン量による区分(kg/m ³)	I 種 : 0.02以下
	II 種 : 0.02を超え0.20以下
	III 種 : 0.20を超え0.60以下

9. 温度

外気温 (°C)			問題なし	問題あり
コンクリート(°C)		骨 材		
		供試体本数		

10. 骨材、供試体確認

サイン	
監査員(正)	監査員(副)